



開会式
オープニング
2018.10.6^土

会場

iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ
大分県立美術館前(歩行者天国)



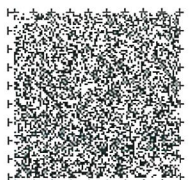
主催：文化庁／厚生労働省／大分県／大分県教育委員会

第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

お問合せ

〒870-0037 大分市東春日町17-20 大分第2ソフィアプラザビル1階
第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
(大分県国民文化祭・障害者芸術文化祭局)
TEL.097-529-6284

詳細は公式HPをご覧ください。



これはSPコードです。
専用の読み取り装置やスマホ
アプリを利用して、情報を音声
で聞くことができます。

「おおいた大茶会」をテーマに、子どもからお年寄りまで、障がいのある方もない方も、外国の方も、誰もが楽しむことができる文化のお祭りです。伝統文化から現代アートまで、様々な芸術文化に出会えます。

「第33回国民文化祭・おおいた2018」「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」
開会式・オープニングを開催!

日時 2018年10月6日(土) 17:00～(受付時間 15:00～16:30)

会場 芸術文化ゾーン(大分市高砂町・寿町)

〔屋内会場〕iichiko総合文化センター iichikoグランシアタ(要入場券・事前申込制)

〔屋外会場〕県立美術館前 歩行者天国(入場自由) ※歩行者天国実施のため、交通規制があります。



プログラム



15:00

歩行者天国 開始

15:00～16:30

開場・受付 [iichikoグランシアタ]

17:00～17:10

プロローグ [iichikoグランシアタ]

17:10～17:40

式典 [iichikoグランシアタ]

17:40～18:40

オープニングステージ
[iichikoグランシアタ・歩行者天国]

タイトル「ヨロコビ・ムカエル?」

小さな村の祭り。村人が神輿の行列を待っている、その道をふさぐように言葉も通じない老人と少女が現れる。

困惑する村人は、ふと現れた鬼らしき存在に二人を動かすよう依頼し・・・。

そして物語が動き出す。異質なものが共存するさまを踊りに描く物語。

脚本 / 小野 正嗣 演出・振付 / 穴井 豪

18:40～19:00

エピローグ
[iichikoグランシアタ・歩行者天国]

19:00～20:00

記念アトラクション [歩行者天国]

交通アクセス

・JR大分駅から徒歩約10分

・JR大分駅からバスをご利用の場合は、循環バス「大分きゃんバス」にご乗車「オアシスひろば前」でご降車ください。

●当日は、歩行者天国実施のため交通規制を行います。公共交通機関の利用にご協力ください。

●荒天の場合は一部プログラム等が変更となる場合があります。



総合司会

賀来 千香子(かく ちかこ)

学生時代より、雑誌『JJ』でモデルとして活躍。

82年ドラマ『白き牡丹に』で女優デビュー。『男女7人夏物語』『ずっとあなたが好きだった』『誰にも言えない』などヒット作に出演。現在、ドラマ、舞台、CM、雑誌など多方面で活躍。NHK Eテレ『あしたも晴れ! 人生レシピ』(毎週金曜20:00～20:45放送中)で司会を務めている。

父方が宇佐市安心院町出身で賀来家の子孫。



脚本

小野 正嗣(おの まさつぐ)

1970年生まれ。大分県佐伯市蒲江出身。2001年「水に埋もれる墓」で第12回朝日新人文学賞受賞。2002年「にぎやかな湾に背負われた船」で第15回三島由紀夫賞受賞。2015年「九年前の祈り」で第152回芥川龍之介賞受賞。近著に「残された者たち」「水死人の帰還」がある。現在、立教大学文学部教授として教鞭をとる。2018年4月からNHK Eテレ「日曜美術館」のキャスターとして活躍。



演出・振付

穴井 豪(あない ごう)

1980年生まれ。大分県大分市出身。ダンサー・振付家・演出家。2004年、日本を代表するコンテンポラリーダンスグループ「Leni-Basso」のメンバーとして世界中で公演、17カ国で舞台に立つ。2013年、ヒップホップ系ミュージカル、アルターボーイズでエンターテイメントの振付キャリアをスタート。2015年には話題作「スーパー歌舞伎II ワンピース」(市川猿之助主演)の振付を担当、歌舞伎ともつながりのある洋舞の振付家として活躍。

くるまです にゅうじょう かのう
車椅子での入場も可能です

しゅわつうやく てんじしりょう
手話通訳・点字資料もあります